

1. 投稿資格と匿名性

- 1) 「パーソナリティ研究」に投稿できる論文は、第1著者が日本パーソナリティ心理学会の会員であるものです。必ず第1著者が編集委員(査読者)とやり取りを行ってください(変更する場合は必ず事前に申し出て許可を得てください)。
- 2) 投稿論文は未公開のものに限ります。
- 3) ショートレポートの内容に新しいデータや考察を加えて新たに執筆した論文を投稿する場合には、論文冒頭に「この論文はパーソナリティ研究第○巻○号に掲載されたショートレポート(論文名)の内容をもとに新たに執筆したものである」という脚注を加えます。ただし投稿原稿では「匿名性の理由で省いた脚注」として添え状に記載してください。
- 4) 「パーソナリティ研究」では匿名で審査を行いません。著者の氏名や所属、それが推測されるような謝辞や脚注などはすべて投稿原稿からは省き、添え状に記載してください。

2. 原稿の書式

- 1) 原稿はA4用紙、横書き、1段組み、10.5pt、明朝体、余白は上下左右30mmにしてください。原著の場合には30字×28行とし、ショートレポートの場合には30字×38行にしてください。投稿論文の1頁が、刷上り半頁に相当します。図表のない論文の場合、原著では20頁(刷上り10頁に相当)、ショートレポートの場合は4頁(刷上り2頁に相当)が投稿の上限となります。
- 2) 本文には頁ごとに行番号をつけてください。図表頁には不要です。
- 3) 頁下部の余白には頁番号を必ず挿入します。
- 4) 第1頁は英文アブストラクト(表題を含)と和文要約(表題を含)を記載します。第2頁から本文(引用文献を含)を書き始めます。英文アブストラクトと和文アブストラクトが1頁を超える場合には、第3頁から本文を書き始めてください。図表は、独立の頁として、本文の次の頁から添付します。図表は1頁にひとつとします。図表の表題やキャプションは、図表とともに記載してください。
- 5) 「パーソナリティ研究」でとくに指定のない部分については、最新版の日本心理学会「執筆・投稿の手引き」に従ってください。

3. 論文種別と論文の文字数

- 1) 「パーソナリティ研究」に投稿できる論文の種別は「原著」と「ショートレポート」の2種類です。
- 2) 投稿論文には文字数の上限が設けられています。投稿時に上限を超過している論文は受け付けません。審査過程での加筆修正による超過は認める場合もありますが、超過分の印刷費用を著者に請求します。
- 3) 原著は、英文アブストラクト、和文要約、本文(引用文献を含)、図表、すべてを含めて刷上り10頁が上限です。
- 4) ショートレポートは、本文、引用文献、図表で刷上り2頁が上限です。英文アブストラクト、和文要約はこれに含みません。
- 5) 図表を頁に換算する場合は、刷上り1頁、半頁、4分の1頁のいずれかに分類します。頁換算は、ゆとりをもって大きめの頁換算を選択してください。

4. アブストラクトとキーワード、和文要約

- 1) 原著の英文アブストラクトは120~150ワードで作成し、キーワードは3から5個です。
- 2) ショートレポートの英文アブストラクトは100ワード以内で作成し、キーワードは同様3から5個です。
- 3) 和文要約は原著、ショートレポートともに400字以内で作成してください。キーワードは英文と同じものを日本語で添えます。論文本文が英文の場合も和文要約と和文キーワードを添えてください。

5. 添え状

- 1) 添え状には以下の内容を記載して、論文原稿とは別に(ファイル種別「添え状」として)アップロードしてください。
 - ①表題、著者名、所属機関名とそれぞれの英訳。
 - ②匿名性の理由で省いた脚注、謝辞、付記など。
 - ③尺度等の邦訳、未公開論文の引用を含む場合には、著作権者の氏名と許可を得た年月日。文書がある場合はそれを別途添付する。
 - ④所属機関の倫理委員会の審査を経ている場合はその年月日、承認番号など。文書がある場合はそれも「添え状」として添付する。
 - ⑤その他、論文原稿には記載できない事項や論文の審査に必要と思われる情報。
- 2) 修正再投稿の場合も上記と同じ添え状を添付します。採択となった場合の最終原稿には上記と違う内容の添え状が必要ですので、「最終原稿の作成と提出について」を確認してください。

電子投稿の投稿先 日本パーソナリティ心理学会 「パーソナリティ研究」の頁 http://www.jspp.gr.jp/doc/pub_jjp.html

投稿に関する問合せ先 編集委員長 加藤司 journal-kikanshi@jspp.gr.jp